

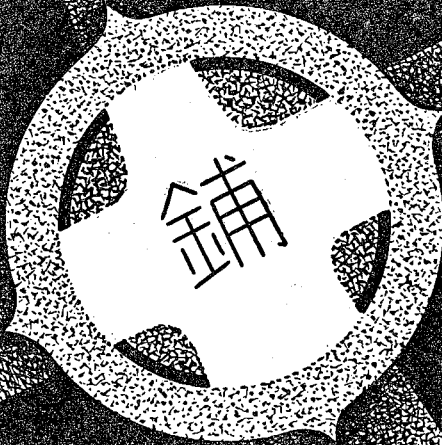
昭和十七年五月一日 (毎月一回一日發行)

道路の改良

第二十四卷
第五號

社団法人
道路改良會

鋪裝報國



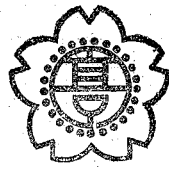
東京・丸ノ内

日本鋪道株式會社

社長 浅利 三期

東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・横濱・名古屋・京都

土木建築
道路鋪裝
工事請負



株式會社 高野組

本社

東京市京橋區越前堀二ノ一

電話京橋(56)一、九二三番・七、八二五番
七、三二〇番・八、〇七二番

倉庫 東京市品川區東品川三ノ三

電話高輪(44)五三四〇番

大阪出張所 大阪市北區梅ヶ枝町一五七(梅ヶ枝ビル)

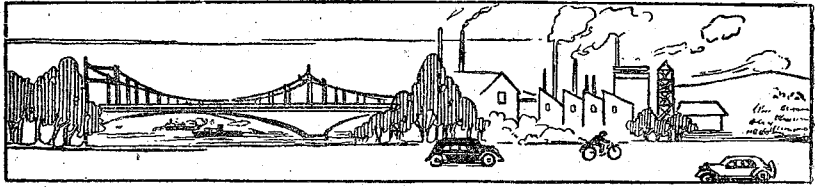
電話北(36)一、九五六番・一、九八八番

福岡出張所 福岡縣糟屋郡和白村奈多

電話和白 二一八番

上海出張所 上海市老靶子路二六九號

電話(02)四三、二二三番・三、九五〇番



道路の改良 第二十四卷 第五號 目次 昭和十七年五月一日發行

卷頭言

論 說

機構上に於ける今日の問題…………… 慶應大學教授 奥井復太郎(三)

研 究

再び共榮圈内の經濟狀況と交通問題(上)…………… H T 生(二)

說 苑

歴代内務土木局長と其時代Ⅱ 挾間茂氏…………… 清水 生(二)

千葉縣道路愛護之現狀…………… 千葉縣廳土木課(四)

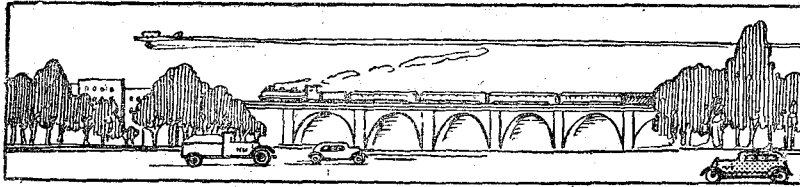
佛印への道Ⅱ 道と兵隊Ⅱ 續篇(二)…………… 和歌山縣廳 根井友信(四)

津輕の彼方…………… 和泉 生(五)

道路開鑿物語 龜田の久藏…………… 伊藤永之介作(三)

時局日誌(五十五)…………… Y H 生(七)

内務省特報



◎内務省告示◎市町村吏員と地方事務官◎全國金融統制令の設立……………(一〇五)

地方通信

北海道町村道の改良に地元住民の熱意……………其他……………(一〇七)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例……………S O 生(一〇九)

閣令 重要産業指定規則中改正

勅令 重要産業團體令中左ノ通り改正

例規 軌道所屬輸送用物資指定ニ關スル件

鐵道、内務省令 陸運統制令中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關スル改正

雜報

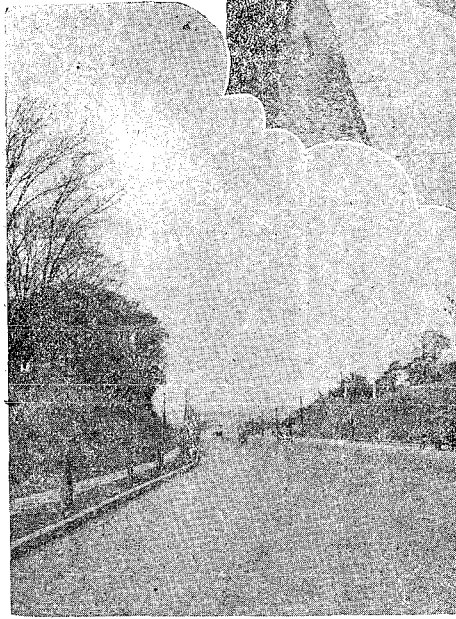
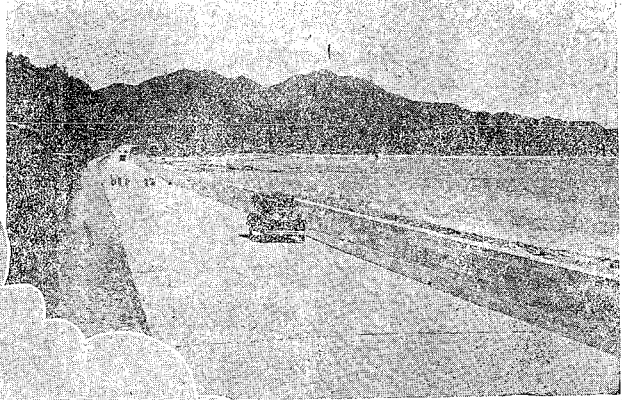
◎道路功績者の表彰◎内務技監鈴木雅次氏◎國土局道路課長岩澤忠恭氏◎特別會員

子爵澁澤敬三氏◎内務省土木試驗所談話會◎近刊圖書雜誌……………(一二九)

叙任辭令……………(一三三)

編輯室の内外……………(一三六)

附錄 内務省、警視廳、北海道廳及各府縣廳主腦部表



淺野ポルトランドセメント
一般工事用

淺野高爐セメント

下水工事ニ

好適

淺野ベロセメント

短期高強度

工事期間短縮

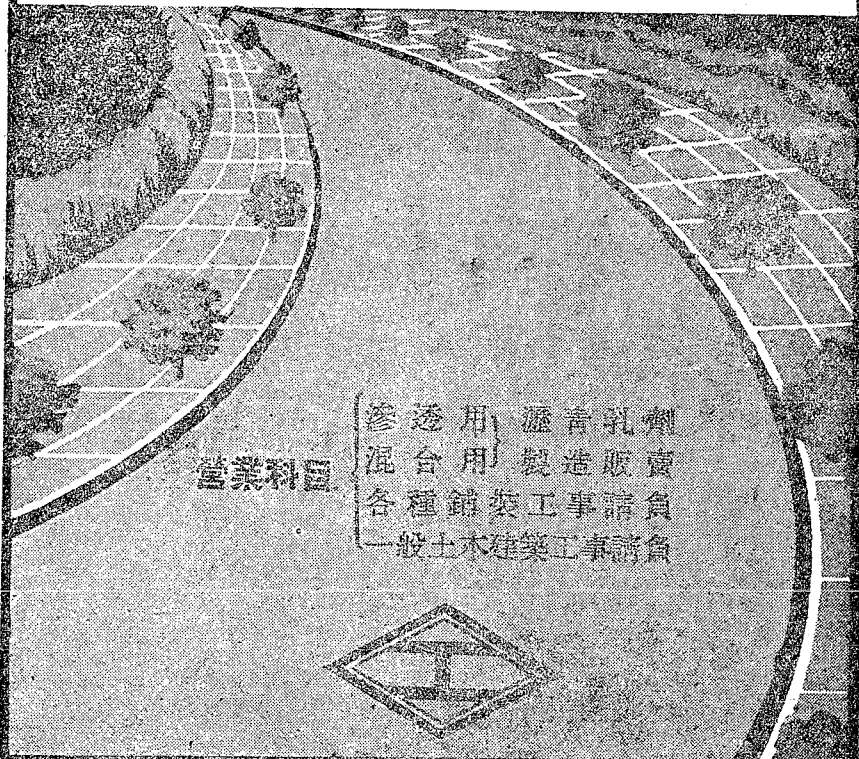
工事費節約

淺野セメント株式會社

東京市丸ノ内海上ビル

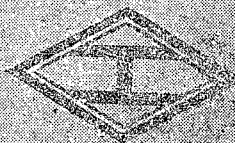
裝 鋪 路 道

(昭 和 十 九 年 力)



營業科目

乳劑 瀝青 用 透 合 混
 販賣 製造 鋪裝 各種 各
 各種 建築 土木 建築 工 事 請 負



東 邦 工 業 合 資 會 社

本 社 { 東 京 市 赤 坂 區 青 山 北 町 四 ノ 一 〇 三
 電 話 青 山 (36) 四 九 七 三 ・ 八 一 四 八

工 場 { 神 奈 川 縣 川 崎 市 幸 町 三 ノ 六 一 二
 福 岡 縣 小 倉 市 富 野 町 下 道 田 一 四 一 三 ノ 二

營 業 所 { 名 古 屋 市 ・ 京 都 市 ・ 大 阪 市
 岡 山 市 ・ 廣 島 市 ・ 小 倉 市 ・ 熊 本 市

土木實務者の獨修書

實用地土木講座

初級と上級

中等程度

春期新學期開始 新會員大募集

一億一心。實力養成。技術は即ち力である。

世は技術時代。土木は國本的技術として高度國防の基本的一環を成し、特に航空土木及防空土木は刻下國民須知の新技術である。

大東亞建設の基調は土木日本の振作に存在す。行け！ 土木家は新天地に!!! 國力伸長のため將た共榮圈興隆のため。

土木を以て立身奉公せんと欲する人のために、島國日本より大東亞へ進出報國を期する人のために、本講座を捧げる。

▼兩講座共初代内務省土木試驗所長、元東京市土木局長牧彦七博士の綜管下に、内務・鐵道・農林・逓信四省、東大・日大・企畫院・滿洲國政府・東京市役所・北京特別市公署・其他の關係諸先生の執筆に成る時需の最良書である。

▼初級講座には土木製圖・測量學・應用力學・發電水力・都市計畫・上水道・下水道の外に科外學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水學・土木材料・施工法・鐵筋コンクリート・河川工學・砂防工學・港灣・道路・橋梁・鐵道工學・發電水學・都市計畫・上水道・下水道の外に科外講話あり。一年三ヶ月修了。毎月一册配本。會費金壹圓五拾錢前納。全卷即時配本可能。

▼上級講座には簡易鋪裝・セメント系鋪裝・コンクリート橋梁及溝橋・隧道工・河港及運河・基礎工・擁壁工・農業土木・航空土木・防空土木・高速鐵道・軌道及特殊鐵道・土地地質學・土木工事監督・續土木工事監督・土木行政法綱要・應用電氣工學等あり。一年一ヶ月修了。土木工事監督・續土木工事監督・土木行政法綱要・應用電氣工學等あり。一年一ヶ月修了。

▼送料(會定)每卷内地十四錢、臺・樺・鮮・南洋・滿・支各二十錢各自負擔。全卷即時配本可能。毎月一册配本、會費金壹圓七拾錢(但第十三號に限り金貳圓)前納。全卷即時配本可能。

▼申込期限は來る六月十五日。

内容見本無代進呈

日本土木工學會

東京市世田谷區上馬町一ノ六五九番地

振替東京二〇八三四番

昭和十七年

道路の改良

五月一日

第二十四卷
第五號

言 頭 卷

都市計畫が都市の發展と生活の明朗化に重點を置いてせらるゝことは言ふを待たず、夫は法制制定の理由に於て明かなる所である。我國の都市計畫法は大正八年八月法律第三十六號を以て公布せられ爾來六回の改正を施されたものである。又市街地建築物法は大正八年四月法律第三十七號を以て公布せられ其の後二回の改正を加へられ今日に至つて居る、而して都市計畫は該法に基いて實施せられたるもの都市に於て百九十一市（昭和十七年四月現在）又町村に於て其の適用を受けたるものは實に四百十六町村（昭和十七年四月現在）に達して居る。

支那事變の進展に伴ひ國防國家の建設が急を告げ、都市防空施設、飛行場新設の事態が全國的に發生したるが故に昭和十二年十月法律第四十七號を代て防空法が公布せられ、昭和十四年二月には内務省令第五號を以て防空建築規則が制定せられて六大都市、主要工業地、軍港都市に其の適用を見るに至つた。之に依りて國防國家の建前から、一層、防空設備が強化せられ都市計畫の上に大革進の歩武を進むることとなつた。

抑も國土計畫とは如何なるものなるや明確を缺くの虞れなしとしない。今獨逸の例に徴するに國土計畫とは土地を對象とするもので全國土の用途をあらゆる立場から考察して綜合的に其の計畫を定むることである而して其の計畫は何處までも計畫であつて經營でもなく、又事業でもないから必ずや之は國策として決定しなければならぬ。

國策としての國土計畫は第一に大都市と工業地帯とを分散すること第二農村と都市及工業地帯との關係を定めざるべからず、故に其の都市、工業地帯及農村との間には必ずや交通機關の施設を樹立しなければならぬ、特に道路の施設就中自動車道の設置は是非とも考慮せざるべからざることである。

大東亞共榮圈の確立は急速に之を遂行せねばならぬ點から見れば國土計畫は第一に國內國土計畫第二に殖民地國土計畫第三に滿支に於ての國土計畫第四に大東亞共榮圈に在る諸國の國土計畫が計畫せられ相互的に連絡を保たなければならぬ。

斯く考ふる時に我が國の都市計畫が現行の都市計畫法等に依りて充分に國土計畫に即應し行かるべきか否特に其の交通機關の施設が満足し得らるべきか否。

高度國防國家建設の見地から又産業擴充の立場から考ふるときに我國の都市計畫法は根本的革正に加へられて都市計畫の建直しをなすと同時に交通機關殊に道路政策に検討を加へ、道路の改良擴張は勿論自動車の建設に向つて深く意を用ゆるべきものである斯く吾曹は思ふのである。（洗民）